

神戸大学非公式 Beamer テーマ

神戸スタイルの \LaTeX プレゼンテーション

矢内 勇生

法学研究科

2015 年 4 月 20 日



神戸大学

内容



- ① はじめに
 - 神戸大学用 Beamer テーマ
- ② 基本
 - ブロック
 - 数式
- ③ 図表
 - 表
 - 図
- ④ まとめ
 - Let's use KobeBeamer!

KobeBeamer でスライドを作ろう!



神戸大学の公式ロゴで使用されている色：

- **ブリック**：神戸大学のシンボル
- **カラーグリーン**：山のイメージ
- **ブルー**：海のイメージ
- **グレー**：文字に使用

ブロックを使おう



Block

これは block 環境です。

ブロックを使おう



Block

これは block 環境です。

Example

これは example block 環境です。

ブロックを使おう



Block

これは block 環境です。

Example

これは example block 環境です。

Alert

これは alert block 環境です。

数式を使おう



正規分布 $N(\mu, \sigma^2)$ の確率密度関数:

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \exp \left[-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2} \right] \quad (1)$$

標準正規分布の確率密度関数

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \exp \left(-\frac{x^2}{2} \right) \quad (2)$$

表で説明する

表: OLS による推定結果：応答変数は得票率 (%)

説明変数	推定値	
	モデル 1	モデル 2
定数	7.91 (0.69)	-2.07 (0.72)
議員経験	18.10 (1.23)	45.91 (1.58)
選挙費用	1.85 (0.12)	4.87 (0.16)
議員経験 × 選挙費用		-4.76 (0.21)
サンプルサイズ (n)	1124	1124
自由度調整済み R^2	0.56	0.70

注：括弧内は標準誤差



図で説明する

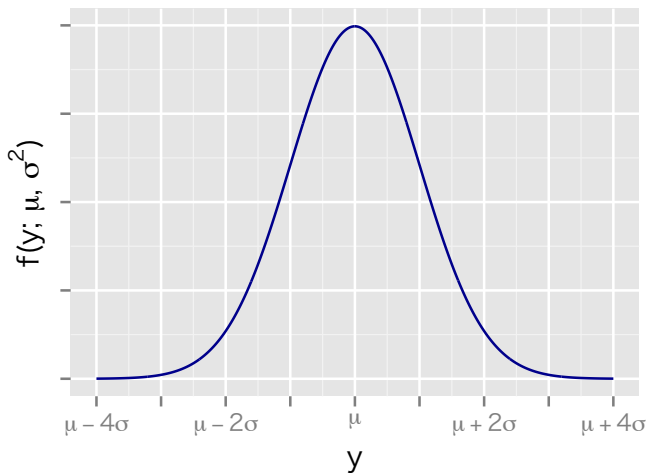


図: 正規分布の PDF



写真



Thomas Bayes



Pierre-Simon Laplace

$$p(\theta|y) = \frac{p(y|\theta)p(\theta)}{p(y)}$$

結論



\LaTeX と KobeBeamer を使えば

- 美しいスライドが作れる！
- 神戸大学 のイメージを世界にアピールできる！

結論



\LaTeX と KobeBeamer を使えば

- 美しいスライドが作れる！
- **神戸大学** のイメージを世界にアピールできる！

Email: `yanai@lion.kobe-u.ac.jp`